



Title	中国語母語話者に対する補助動詞「ておく」の指導法に関する一考察：中国語における副詞“先”との比較から
Author(s)	伊藤，萌夏；齋藤，涼夏；張，舟天
Citation	阪大日本語教育学研究. 2022, 13, p. 19-54
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/87638
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

中国語母語話者に対する補助動詞「ておく」の指導法に関する一考察 —中国語における副詞“先”¹との比較から—

伊藤萌夏・齋藤涼夏・張舟天

1. 研究背景と目的

補助動詞「ておく」は、初級で学習するにも関わらず、上級の学習者でも使いこなすのが難しい項目の一つである。特に、「ておく」に対応する表現のない中国語母語の日本語学習者にとって「ておく」の使用場面は理解しにくく、誤用だけでなく非用も起きやすい。本稿は、中国語母語の日本語学習者にとって、より適切な「ておく」の使用につながるような指導法を提案することを最終目的としている。そのために、まずは「ておく」の基本的意味を整理した上で、日本語会話における「ておく」と同じ場面でのどのような中国語表現が使用されるかについて調査を行った。その結果をもとに、日本語における「ておく」と同じ場面でよく使用される中国語の副詞“先”について、「ておく」との対応関係を詳細に考察する。最後にこれらを踏まえ、中国語の副詞“先”を利用した効果的な「ておく」の指導法を提案する。

本稿の流れをまとめると、以下のようになる。

- I. 補助動詞「ておく」の基本的意味を改めて整理し直す。
- II. 日本語会話において補助動詞「ておく」が用いられる場面について、中国語会話ではどのような表現が用いられるかを明らかにする。
- III. 補助動詞「ておく」と中国語における副詞“先”が表す事態の共通点と相違点を明らかにする。
- IV. 中国語母語話者に対する補助動詞「ておく」の指導法を提案する。

2. 先行研究

2.1 日本語の「ておく」に関する先行研究

本章では、日本語の補助動詞「ておく」の意味に関する先行研究をもとに、「ておく」の基本的意味と用法について改めて整理する²。

岡野（2003）はテオクの意味を、以下の2つの視点で分類した。

- ①テで表される動作をする（処置）のか、しない（放置）のか
- ②未来を考慮して使われたもの（未来考慮型）か、現状に対して使われたもの（現状考慮型）か
＜放置－未来考慮型＞
 - (1) A：ドア、閉めましょうか。
B：もうすぐ C さんが戻ってくるから、開けておいてください。

¹ 本稿では、“先”という表記によって中国語の副詞であることを表し、日本語の「先（さき）」と区別している。

² 本章では、「ておく」の表記は各先行研究に倣う。また、例文の番号は、本稿における通し番号である。

< 放置－現状考慮型 >

(2) A : ドア、閉めましょうか。

B : 暑いから、開けておいてください。

< 処置－未来考慮型 >

(3) A : ガムテープなんか持って、どうするんですか。

B : あした引っ越しだから、荷造りしておこうと思って。

< 処置－現状考慮型 >

(4) A : ガムテープなんか持って、どうするんですか。

B : 窓ガラスにひびが入ったから、とりあえず貼っておこうと思って。

(例文 (1), (2), (3), (4) : p. 71, 下線は筆者による)

さらに岡野は、「未来考慮型」に以下のような 2 つの下位分類を設けた。

・結果残存要求型：未来において、動作の結果の状態が要求される（いわゆる「準備」の用法）

(5) 友達が来るから、ケーキを焼いておきます。（焼かれたケーキが要求される）

(6) 試合中ばてないように、走り込んでおきます。（走り込んだ結果養われた体力が要求される）

(例文 (5) : p. 5 , (6) : p. 6, 下線は筆者による)

・動作遂行要求型：動作の遂行が未来において阻害されるため、出来事時点における動作の遂行が要求される

(7) 午後は忙しいから、午前中にケーキを焼いておきます。

(8) もうロンドンには来られないでしょうから、二階建てのバスに乗っておきます。

(例文 (7), (8) : p. 5, 下線は筆者による)

岡野（2003）の分類をまとめると、以下の表 1 のようになる。

表 1 岡野（2003）によるテオクの分類（例文の番号は本稿に準拠）

	未来考慮型		現状考慮型
	結果残存要求型	動作遂行要求型	
放置型	(1)	—	(2)
処置型	(3) (5) (6)	(7) (8)	(4)

岡野（2003）によれば、「V テオク」のうち、処置型は「V テ」で表される動作の部分、放置型は「オク」で表される処置の部分に焦点が当たっているため、処置型は放置型に比べてテオクがなくても非文とならない場合が多い。その上で、処置型のテオクが表すのは「動作によって意味のある状態を意図的に作

り出すこと」であると指摘し、「状態」と「意図的」の2点を以下のような例で確認した。

- (9) a. このドアは、9時 ??から／までに／??まで 開けます。(点的な時間と結びつく)
b. このドアは、9時 から／までに／まで 開けておきます。(線的な時間と結びつく)

(10) 帰る道が分かるように、道におはじきを1つずつ落としておいた。(意図的)

(11) *うとうとして、いつのまにか持っていたバッグを落としておいた。(意図的でない)

(例文 (9), (10), (11) : p. 10, 下線は筆者による)

また、動作の中に「意図的に何もしないこと／そのままにすること」を含めれば、処置型の基本的意味は放置型にも適用できるとしている。

岡野 (2003) が「準備」と「処置」を明確に分類している一方で、吉田 (2012) は、「暫定的処理」と「準備」の用法の根源にある要素を探ることを通して、「ておく」の意味素性を明らかにしようとした。吉田は、テオクの意味素性として「動作効力持続性」を挙げ、二次的な意味素性として「後続事態への配慮」を挙げている。吉田によれば、「準備」や「暫定的処理」といった区別にはそれほど意味はなく、この区別は全く文脈によって発生するものであるという。

(12) 野菜は、ひとまず冷蔵庫に入れておこう。

(13) 友だちが来る前に、家を掃除しておいた。(例文 (12), (13) : p. 164, 下線は筆者による)

例えば (13) の場合、「友達が来る」という後続事態に配慮して、先行動作「家を掃除する」を行う。この場合は後続事態が明確に意識されているため、いわゆる「準備」となる。それに比べて、(12) の場合は明確な後続事態がない。しかしこれは、後続事態がどんなものであれ、野菜の処理のプロセスで最も無標なものとして思いつく「野菜を冷蔵庫に入れる」という先行動作を行っているのであって、この場合がいわゆる「暫定的処理」となる。

岡野 (2003) による分類の視点①についても、吉田 (2012) では、発話以前に行為が完成していようと、未完成であろうと、完成した状態を想定して後続の「オク」が作用するため、その区別もそれほど問題ではないとしている。

「準備」や「処置」といった意味は「ておく」自身が持っている意味ではないという吉田 (2012) の指摘は、日本語教育にとっても重要な指摘である。日本語教育においてはしばしば、「ておく＝準備」のような形式と意味をセットにした指導が行われ、これによって学習者は形式そのものがある特定の意味を持っていると勘違いしてしまう場合がある。「ておく＝準備」とラベルづけをしてしまうことで、その動作が何かのための「準備」であれば、必要ない場面でも「ておく」を使ってしまうたり、逆に「準備」とは言えないような場面で使われる「ておく」が身に付かなかつたりという問題が起こる。これを解消するためには、吉田 (2012) が指摘するように、「ておく」という形式自体が持つ意味はそれほど明確なものではなく、会話の流れ、会話参加者の中にある前提、また会話参加者の間に存在する共通認識など形式以外の多くの要素がその発話の意味を形作るのだと理解すること、つまり学習者の意識を形式から場面へと移行することが重要ではないだろうか。もちろん、吉田 (2012) の示した「ておく」の意味素性を知っ

ているだけでは全く意味がない。「ておく」自身が持つ意味の曖昧さを認識したうえで、「準備」や「暫定的処理」といった意味を生み出す「文脈」をどう分類して教えるかが重要である。本稿では、日本語ではすべて「ておく」で表される事態が、中国語母語話者にはどのように認識され、どんな表現を用いて描写されているのかについて考察することにより、中国語母語の日本語学習者に「ておく」を使用する言語感覚をつかんでもらえるような指導方法を考えたい。

2.2 「ておく」の日中対照および中国語の“先”に関する先行研究

許(2015)は認知言語学的な観点から、「ておく」の意味として長年議論されてきた「持続」と「準備」は、本動詞「置く」の「場を占める」という基本的な意味からの拡張として捉えられると主張した。許(2015)によれば、「ておく」はその行為の対象物や効力が占める場のタイプによって、以下のようにAからDへと意味が拡張するのだという。

- A. 具体的な空間の場を占める
- B. 時空間の場を占める
- C. 心理的境界線で閉じた時空間の場を占める
- D. 経験の場を占める

Aに相当するのは、「ある物体が具体的な空間の場を占める」という本動詞「置く」の基本的意味に最も近い以下のような例である。

(14) そのほかのものは、木のはこに入れて、ならべておきます。

(15) 腰の一剣を抜くとその場に正座した。そして、剣を左に、柄を前に刃を外にして置いた。

(例文(14), (15) : p. 55, 下線は許(2015) まま)

(14)では「そのほかのもの」を並べたあと、それが「木のはこ」という具体的な空間を占め、(15)では、剣を置いた後、それが地面という具体的な空間を占める。

Aタイプよりも文法化が進み、「時空間を占める」という意味を表すのがBである。

(16) わたしの家では、見かねて、このあいだ、「ごみをすてないでください。」と、立てふだを立てておきました。

(17) もうすぐ夫が帰ってくるので、味噌汁を温めておく。

(例文(16) : p. 56, (17) : p. 57, 下線も許(2015) まま)

先行研究では、(16)は「持続」、(17)は「準備」の用法とされるが、許(2015)では、これらの用法を統一的に説明している。(16)では、Vという行為の成立時点から「立てふだが立った状態であること」が時空間に保有され、その立てふだをしまう時点で、立て札の位置変化とともに効力の保有も終了となる。一方、対象物の位置変化を伴わない(17)の場合でも、動作Vの効力、つまり「味噌汁が温まった状態にあること」が時空間に保有され、夫が食べる時点が効力保有の終了時点となる。

このように、動作をした効力が効力の保有終了時点まで時空間の場を占めると捉えることにより、「持続」と「準備」を統一的に捉えることができると述べている。

「準備」とも「持続」とも解釈できない以下のようなものは、Cタイプにあたる。

(18) (授業時間の終わりが近づいて教授者が) あ、そろそろ時間ですね。では、今日は、ちょっとキリが悪いけど、12 ページの 3 行目までにしておきましょう。

(19) 糖尿病をそのままにしておくと、大変なことになります！

(例文 (18), (19) : p. 58, 下線も許 (2015) まま)

これらは先行研究において、「放置」や「一時的処置」といわれてきた用法である。これらも B タイプと同じように動作の効力が効力の保有終了時点まで持続すると捉えられるものの、効力の保有終了時点が客観的に判断しにくい点が B タイプと異なる。この場合、効力の保有終了時点は心理的に決定される。つまり、(18) では何らかの後のことを視野に入れてそのページまでで留めるのであり、(19) では、「そのままにする」という行為が後の「大変なこと」になる時点と繋がると想定している。客観的には保有終了時点が分からなくても、このような「心理的境界線」を有すると言うのが C タイプの特徴である。

最後に、動作 V が経験として所有することに意義を認めるのが以下のような D タイプである。

(20) 元気なうちに、富士山へ登っておきたい。

(21) こんなうまい酒はめったに飲まないから、しっかり味わっておこう。

(例文 (20), (21) : p. 59, 下線も許 (2015) まま)

このタイプも、動作の効力が効力の保有終了時点まで持続すると捉えられるのは B と同じだが、その終了時点が経験者の死ぬ時点となる。筆者はこれを「人生の境界線」と呼んでいる。

許 (2015) は以上のような考察を踏まえ、『中日対訳コーパス』³を利用して「ておく」の中国語との対象分析を行った。その結果、日本語で「ておく」が用いられている部分のうち、中国語に訳されていないものが 9 割を占めていた。「ておく」と何らかの対応があった残り 1 割程度 (81 例) の中国語を見ると、“先” が最も多く 28 例あり、その他の表現は全て 10 例以下ずつであった (表 2)。これらの中国語は、意味によって「動作か状態保持」、「完了」、「準備に相当する意味」の 3 種類に分けられる。以下はそれぞれの意味の例文、表 6 はそれぞれの意味の 81 例中の用例数を割合とともにまとめたものである。

<動作か状態保持>

(22) a. 伐った竹材は、つしとよばれる三角屋根の屋根裏にならべておく。

b. 砍伐来的冬竹, 并排置 于 屋顶下的三角形空档里。

(伐った竹材は 並べる おく に つしとよばれる三角屋根の屋根裏。)

<完了>

³ 北京日本学研究中心によって開発された小説、エッセイ、伝記、政治評論・白書、法律関連文書・条約文書、詩など各ジャンルの中日対訳テキストであり、2003 年 7 月に第一版公開。

(23) a. 一方は、「鯨尺」を示しておいて、これによって基準寸法を示し、次の段階において「鯨尺」と「センチ尺」を比較する。

b. 另一种 是 先 讲清 鯨尺的用法，再用它量出剪裁尺寸，
 〈もう一種 は 先に 説明する 鯨尺の用法 これによって基準寸法を示し、〉
 随后再将鯨尺和公分尺做一番比较。
 〈次の段階において「鯨尺」と「センチ」を比較する。〉

<準備に相当する意味>

(24) a. こう命じて置いて、校長は応接室の戸を開けて入った。

b. 校长 吩咐 完毕，打开会客室的门，走了进去。
 〈校長 命じる 終了 応接室の戸を開けて入った。〉

(例文 (22), (23), (24) : p. 109, 下線は許 (2015) まま)

表 2 「ておく」に対応する中国語の分類

「ておく」に対応する中国語の 3 分類			
a. 本動詞「置く」に相当する意味／状態の保持	放 搁 置 放着 搁下 安置 摆着 放置 放下来 呆了 一会 等了一会	24	30%
b. 広義の完了	后 过 了 已经 以后 完毕	18	22%
c. 準備に相当する意味	先 早 预 预先 事先 先前 准备 暂时先	39	48%

(表 2 : 許 (2015) p.108)

李 (2011) は中国語の“先”の通時的な意味変化を考察した。“先”は先秦時代 (紀元前 200 年ごろ) に、主に動詞として「前進する」、「進む」という意味で使われており、物理的な空間移動を表していた。しかし、現代中国語に至っては、“先”の「空間的に前に進む」という用法が大体中国語の“前”によって表されるようになり、“先”はほとんどの場合に時間的前後関係 (順番) を意味する。現代漢語辞典 (第 6 版) では、中国語の“先”の 7 つの意味が挙げられている：①名詞。時間的、または順番的に前に位置する (「後」と相対的)。②副詞。ある行為や出来事が先に起こる。③副詞。とりあえず。④祖先、上の世帯。⑤敬語。亡くなった人に対して使用する。⑥ (話し言葉) 名詞。その前。⑦苗字として使用する。

2.3 「ておく」の指導法に関する先行研究

植田 (2017) は「ておく」が「行為の完了を設定時と結びつける」性質を持つと規定し、日本語教育における「ておく」の提出法を検討した。植田 (2017) は日本語教育において「ておく」の第一の用法として「準備」が挙げられていることが、「ておく」を用いない文との意味の違いを説明しにくくしているという問題点を指摘した。そして、「ておく」を提出する際には優先的に「限界動詞⁴⁾」「非限界動詞⁵⁾」に「て

⁴⁾ 限界動詞とは、「終了限界」を意味的に含む変化を表す動詞である。その種類は 3 種類あり、①対象の変化位置を表す動詞 (とる、立てる、置く等) ②対象の状態変化を表す動詞 ((電気を) 点ける、切る、使役形等) ③主体の知識量の変化を表す動詞 (覚える、知る等) の 3 つである。

⁵⁾ 非限界動詞とは、洗う、調べる、考えるなどの「終了限界」を意味的に含まない動作を表す動詞である。非限界動詞は動作が達成される時点を持たない、継続的な動きをする動詞である。

おく」が付与され、かつ、文脈に影響を受けない例を提示するべきであると述べている。その結果「限界動詞＋ておく」では、行為の完了によって生じる変化の結果状態を維持することが、「非限界動詞＋ておく」では、行為の完了によって生じる結果や効果までが表されることが確認できると述べている。さらに、それぞれの場合に「ておく」がどのように「行為の完了を設定時と結びつけ」ているかを確認したうえで、他の要素に影響を受け得る「ておく」文へと拡大して提示していくべきであるとしている。ここでいう設定時とは、「ておく」で表される動作が効力を発揮する時点を指していると思われる。具体的には、

(25) a お祭りの間は、うちの前に立てておこうよ。

b *お祭りの間は、うちの前に立てようよ。

(26) a 食べたあとの食器はちゃんと洗っておいてね。

b 食べたあとの食器はちゃんと洗ってね。

(例文 (25) a : p. 208 / b : p. 209, (26) a : p. 210 / b : p. 211, 下線も植田 (2017) まま)

(25) の文の「立てる」は限界動詞であり、(25a) は「立てる」という行為の完了によって「立っている」状態が設定時である「お祭りの間」維持されるということが表される。一方、(25b) は「立てよう」という意志をお祭りの間維持することは表せないため非文となる。一方、(26) における設定時は「次に食器を使うとき」である。(26) の「洗う」は非限界動詞であり、(26a) では食器を洗うことを完了させた結果、食器がきれいな状態になることが表されるが、(26b) は単に食器を洗う動作に取り掛かることのみが表される。

また、「ほかの要素に影響を受け得る「ておく」文」とは、

(27) テストのために、何回も漢字を書いて練習しておきました。

(28) 机の上はそのままにしておいてください。

(例文 (27) , (28) : p. 213)

(27) の場合は過去を表す「た形」によって行為の完了が表される。(28) では「そのまま」という語彙が「ある状態の維持」という意味を持っている。このように必ずしも「ておく」のみの働きによって「行為の完了」や「行為完了の結果状態の維持」が表されるわけではない場合は「ておく」の性質が捉えにくくなるため、「限界動詞」と「非限界動詞」に「ておく」が後続する場合の文から提示し、その後 (27) や (28) のようなほかの要素に影響を受け得る「ておく」文を提示していくべきだと植田は述べている。

このように、植田 (2017) は「ておく」を、「行為の完了」と「設定時」とを結びつける表現であると説明している。しかし、「ておく」が用いられるとき、いつも「行為の完了」や明確な「設定時」があるとは限らないのではないだろうか。例えば以下の (29)、(30) を見てみる。

(29) A さんが来るまで、その辺の店を見ておくね。

(30) 暑いので、このまま窓を開けておこう。

(例文 (29) , (30) : 作例)

(29) は待ち合わせで A を待っている話し手が A に言った文である。この (29) の「行為の完了」が何であるかは明確ではない。また、(30) は「～まで」と期間が明確に示されていないため、「設定時」がいつかは話者の頭の中にしかなく、不明確である。このように、植田 (2017) の説明では学習者にとって理解しにくく、当てはまらない例の説明が困難である。

中国人学習者に焦点を当てた研究もある。辻 (2016) は中国人学習者に対し、どのように「ておく」の多様な用法を指導していくかを考察した。分析には「中日対訳コーパス」から得られた 392 例を分析対象とし、「ておく」の用法を「状況を作り出す過程」、「状況を持続する過程」、「放任」、「準備のためにする動作を表す」、「一時的処置を表す」、「用心・警告」、「自己納得」、「仮初の行為」、「利き手への配慮」の 9 つ挙げ、それぞれに対する中国語訳と教え方のポイントを整理した。例えば「放任」の用法の説明として、“在” や “不管” に相当すると述べている。“在” は結果補語であり、物を放置する場合に用い、“不管” は動詞の否定形で「かまわない」という意味であり、人を放任する場合に用いると述べている。

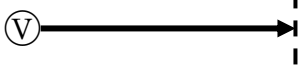
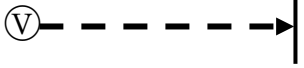
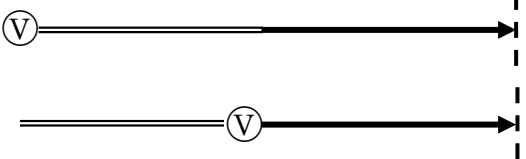
しかし、この指導法は「ておく」の用法が 9 つもあり、その用法を覚えるのが大変な上に、それぞれに対する中国語訳が 1 つとは限らない。よってさらに中国語母語の学習者の混乱を招くだろう。そして、対訳コーパスを用いているため、「ておく」を使用する場面を正確に描写出来ているかは疑問が残る。

3. 「ておく (とく)」の用法分類と動詞別使用可能判定

3.1 動作が行われるタイミングによる用法分類

本稿では「ておく」の基本的意味を、吉田 (2012) を参考に、「結果状態・動作の継続」かつ「未来のことを想定して V する」とであると考える。しかし、動作がいつ行われるのか、またどの程度後続事態を明確に想定しているかは場面や文脈によって異なると考えられる。そこで本章では、『名大会話コーパス』において語彙素「とく」を検索して得られたデータを参考に、動作をいつ行うか、また何をどのように継続するかによって「ておく」を 4 つに分類した。『名大会話コーパス』とは科学研究費基盤研究(B)(2)「日本語学習辞書編纂に向けた電子化コーパス利用によるコロケーション研究」の一環として作成された、129 会話、合計約 100 時間の日本語母語話者同士の雑談を文字化したコーパスである。その特徴として、共通語による会話が大半を占めるが、方言も使われている。参加者の年代は 10 代～90 代まで幅広く、女性の方が多い。親しい者同士の雑談が多いが、初対面同士、研究メンバー同士の会話も一部入っており、先輩と後輩の会話もある。表 2 が動作をいつ行うか、また何をどのように継続するかによって「ておく」を 4 つに分類した表である。なお、実線の矢印が「結果状態の継続」、点線の矢印が「動作の継続」、二重線が「無意識的な結果状態の継続」、縦線が「継続の終了」を表しており、実線はその終了が明確な場合を、点線はその終了が明確な場合と不明確な場合が存在することを表している。

表 3 「ておく」の用法分類

	動作をいつするか	何を継続するか	過去 発話時 未来	副詞のコロケーション
①	発話時	結果状態の継続		今
②	発話時	動作の継続		～までずっと
③	未来	結果状態の継続		あとで
④	過去	意志的な過去の結果の継続		そのまま

①の用法はいわゆる「処置」の用法であり、発話と同時に、またはターン終了後すぐに「ておく」がつく動作を行う用法である。その結果、結果状態の継続がされる。以下はその作例である。

(31) 場面：スーパーから帰ってきて、買ったものを整理している。

A：お肉は冷蔵庫に入れとくね。

B：わかった～。

この(31)の例ではAが「入れとくね」と言いながら冷蔵庫を開けていることも考えられるが、Bの「わかった」を聞いたあとに冷蔵庫を開けていることも考えられる。

②の用法は「動作」の継続を表しており、「V+ておく」を用いることで、動作が継続することを表している。他の用法は結果状態の継続を表すが、この用法のみ動作の継続を表す点で異なっている。以下はその作例である。

(32) 場面：友達と待ち合わせ中、友達から遅れると連絡が来た。

A：ごめん！15分ぐらい遅れそう！

B：わかった～。その辺のお店見とくわ～。

③の用法は「結果状態の継続」であることは①、④と同じであるが、動作を今ではなく未来のある時点で行う点で異なっている。③では「ておく」がつく動作をターン終了後すぐに行ってもいいが、他の行為をした後に行ってもいい。この、発話時から時間を空けて「ておく」がつく動作を行うことが認められるという点で①と異なっている。これはいわゆる「準備」の用法であり、その結果状態の継続がいつまで行われるのかが明確である。それと同時にその終了時点の前までに動作を行わなければならない。以下はその作例である。

(33) 場面：A と B が話していて、決まったことを C に伝える。

A：じゃあ、このこと C さんに言っとくね。

B：ありがとう。お願い！

④の用法はいわゆる「放置」の用法であり、④の上の図のようにその動作はすでに過去に行われている。しかし、「ておく」を用いることで発話時から意志的に継続することを表す。つまり、表2で示したように発話時以前から無意識的に結果状態が持続されているが、発話時に初めて意識的にその状態を持続することを決定している。また、「～ないでおく」の場合は④の下の方の図のように発話時にそれを「しない」ことが表されるが、「しない」状態は過去から継続している。よって、発話時に「しない」ことが意志的になるのである。以下の(34)は④の上の図、(35)は下の図の作例である。

(34) 場面：今院生室を出ようとしている A と、もうすぐ院生室に着く B が電話で話している。

A：あとどのくらいで来る？

B：そうだな～。10 分ぐらいかな？

A：じゃあ院生室のエアコン、そのままつけとくわ！

B：ありがとう！助かる！

(35) 場面：A が病気になったことを友達 B に打ち明け、それを A の彼女に言うか相談している。

A：実はおれ、病気が見つかったんだ。

B：ええ！大丈夫なのか？

A：手術しなきゃいけないらしいんだけど、難しい手術みたいで…。

B：そうなのか…。彼女も心配するだろうな。

A：そのことなんだけど、彼女には言わないでおくよ。

B：どうしてだよ！

以上のように、本稿では「ておく」の用法を4つに分類し、分析を行う。

3.2 それぞれの用法分類における動詞別の使用可能判定

中俣(2014)に載っている、コーパスと教科書それぞれにおいて、「ておく」に前接する動詞に多く使われているものについて、2.1 意味分類の①～④の用法としての使用が可能か、母語話者である筆者2名(伊藤・齋藤)が判定を行った。例えば、「入れる」という動詞であれば「入れておく」という形にした際に①、③、④の用法での使用は可能だが、②の用法の「入れる」という動作をずっと繰り返し行う(＝入れ続ける)という意味での「入れておく」という使用は不可能であるという判定になる。

「コーパス」は『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)を用い、中俣(2014)が上位10位までの動詞を選出しており、「教科書」は7つの初級教科書で多く使われている動詞を最大10個、中俣(2014)が選出している。ただし、教科書の10個の動詞はコーパスの上位10位に入っている動詞を除いた、使用頻度上位10位の動詞である。

形式は「ておく＋終助詞」の形で使用が可能か判断した。「ておいた」などの形にすると、時制の関係があり、判断が難しくなるためである。付加した終助詞は「よ、ね」などの会話で多く使用されている終助詞である。今回「ておく＋終助詞」の形で判断した理由としては、終助詞がつかず「ておく」で終わる会話文がほとんどないため、より自然な「ておくよ」、「ておくね」といった形を用いることで、その文が使用可能か判断しやすいためである。

判定結果は表 4、表 5 の通りである。結果は、それぞれの動詞ですべての用法が使用できるわけではなかった。この結果を受け、まず動詞の性質の違いによって、用法①～④が使用可能か不可能かということに一定の傾向がないか明らかにしようとした。しかし、これは動詞による違いよりも、文脈や使用場面の影響が大きく、単に動詞による違いによって「ておく」の用法を分類することは困難であった。そこで、中国語母語の学習者に対する指導法を考えるにあたっては、使用場面をもとに「ておく」の用法を考慮する必要があると考え、筆者自身が作った会話例を用いて中国語との対応に関する調査を行うことにした。この調査については、4 章で詳述する。

表 4 コーパスで出現数の多い動詞の使用可能判定

コーパス	①	②	③	④
する	○	○	○	×
入れる	○	×	○	○
言う	○	×	○	△(言わせておく)
知る	○	×	×	×
置く	○	×	○	○
取る ⁶	○	×	○	×
放る ⁶	×	×	×	○
つける	○	×	○	○
覚える	○	○	△ ⁷	○
残す	○	×	×	○

表 5 日本語教科書で出現数の多い動詞の使用可能判定

教科書	①	②	③	④
-----	---	---	---	---

⁶ 「取っておく」「放っておく」は、「取る」「放る」という動作でなく、「取っておく」「放っておく」という動作を想定して判定した。

⁷ 「覚える」を、瞬間動詞でなく「勉強する」のような継続動詞と捉えれば可能（以下作例）

（学生 A と B が授業前に）

A：先生なかなか来ないね。

B：ラッキー。先生来るまで小テストの漢字覚えとこう。俺まだ何もやってない。

A：うわ、そうじゃん。今日小テストじゃん。俺もやっとう。

書く	○	○	○	×
買う	○	×	○	×
開ける	○	×	○	○
予約する	○	×	○	○
戻す	○	×	○	×
並べる	○	○	○	○
集める	○	○	○	○
読む	○	○	○	○
食べる	○	○	○	○
掃除する	○	○	○	○

4. 分類した各用法の中国語との対応に関する調査

辻 (2016) は「準備」や「処置」のような意味で場面を分け、それぞれの場合に対応する中国語を考察した。しかしその結果、各場合に対応する中国語の表現はバリエーションが多く、形態的な対応が難しいことが指摘されている。このことを踏まえ、改めて日本語の「ておく」と対応する⁸自然な中国語表現を明らかにするために、中国語母語話者に対してアンケート調査を行った。本稿では、「準備」や「処置」のような意味は「ておく」自体が持つ意味ではないと考えているため、調査にあたっては「ておく」の基本的な意味（動作効力持続性）に基づき、3.1 で述べた 4 つの場合をもとに調査を行った。

4.1 調査方法

許 (2017) は、『中日対訳コーパス』から収集した「ておく」と形態的に対応する中国語表現は、正確に「ておく」の意味を表していないと述べている。したがって本調査では、より場面に応じた自然な中国語表現を調べるため、日本語の「ておく」文を日本語学習者に訳させるのではなく、中国語で場面を提示する方法で調査を行った。調査協力者は中国語母語話者 5 名である。C、P、Y は日本語学習歴のない中国にいる大学院生であり、Y、Z は日本に留学している大学院生で、二人とも日本語能力試験 N1 合格者である。具体的な調査方法としては、まず日本語母語話者である筆者 2 名（伊藤・齋藤）が前述の 4 つの場合に対応する日本語の「ておく」を用いた会話例と場面説明を作成した。そして、中国語母語話者である筆者（張）が会話と場面説明を全て中国語に訳し、日本語において「ておく」が含まれる発話部分のみを空欄にしたものをアンケートに使用した。調査協力者には、各会話場面の「ておく」にあたる発話部分をどう言うかを回答してもらった。この調査では場面のみを詳しく説明し、言語表現は被験者の感覚に任せている。日本語の調査文は以下の通りである。実際のアンケートでは、これらを全て中国語に訳したものを使用した（実際に使用した中国語のアンケートは巻末資料参照）。

（場面①）A（娘）と B（お母さん）はスーパーから家に帰ってきて、A は買ったものを整理している。そして A は買ったお肉を冷蔵庫に入れるつもりで、B にそれを伝えようとしている。

Q：あなたが A なら、どう言いますか？

⁸ 本稿において「ておく」と「先」が「対応する」とは、「日本語において『ておく』が用いられるのと同じ場面の、『ておく』を含む発話において「先」が使用される」ということを意味し、「『ておく』が表すのと同じ事態・同じ意味を「先」で表せる」ということではない。

A : ()。

B : わかった。

(場面②) A は友達と待ち合わせ中で、先に着いたため友達を待っている。でも友達から 15 分遅れると連絡が来た。時間潰しで A はちょっと近くのお店を見に行こうと思って、それを B に伝えようとしている。

Q : あなたが A なら、どう言いますか？

A : ごめん！15 分ぐらい遅れそう！

B : わかった。()。

A : オッケー。じゃあ着いたらまた連絡するわ。

(場面③) A,B,C は授業①の発表で同じグループになった。今日は A と B で発表について話し合っている。C は都合が悪くて来られなかった。A と B で話し合って、『A : はじめに／調査方法 B : 調査結果 C : まとめ』の順で発表することに決めた。A は、このあと授業②で C と会うので、その時に今決まったことを伝えようと思っている。

Q : あなたが A なら、どう言いますか？

A : じゃあ、発表の順番はこれで OK だね。

B : うん。

A : 私、この後 C と授業一緒だから、()。

B : あ、ほんと？ありがとう。

(場面④) A は院生室を出ようとしていて、B との通話で B はもうすぐ院生室に着くことを知った。もうすぐ B がつくから院生室のエアコンをつけたままにするつもりで、そしてそれを B に伝えようとしている。

Q : あなたが A なら、どう言いますか？

A : さっきまで院生室で勉強してて、今帰るところ。もう誰もいないわ。

B : あ、そうなんだ。私これから院生室行く。

A : あ、そうなの？じゃあエアコン()。

B : ありがとう！助かる！

4.2 調査結果

調査結果は以下の表 6 の通りである。

場面①は対応がない場合とある場合があり、形態的な対応がある時も被験者によって対応が違っているので、「ておく」の形態的対応が観察できないとみなせる。場面②と場面③はそれぞれ“先”と“一下”

が「ておく」と対応すると言える。場面④も“着”が対応していると見なせる。なお、場面③④の形態的対応はアスペクトに関する表現であり、前接する V が制限されている。場面②は「とりあえず」の意味なので、動詞に制限がない。

表 6 場面ごとの中国語母語話者の回答および形態的に対応する中国語表現

場面	中国語母語話者 (C, P, L, Y, Z) の回答&その日本語訳	形態的対応
場面①： 結果状態の継続 発話時に V を行う 状態がいつまで続くか不明	(C) 我把刚才买的肉也放进冰箱。 (さっき買ったお肉も冷蔵庫に入れる。) (P) 我把肉放 <u>在</u> 冰箱了。 (お肉を冷蔵庫に入れて <u>ある</u> 。) (Y) 妈妈, 这个肉我想放冰箱里, 因为你之前说这样可以保鲜。 (母さん、お肉を冷蔵庫に入りたい、そうしたら長持ちできるとあなたがその前に言ったから。) (Z) 我 <u>准备</u> 把肉放冰箱里。 (お肉を冷蔵庫に入れる <u>つもり</u> だ。) (L) 我把肉放冰箱了。 (お肉を冷蔵庫に入れる。)	(C) なし (P) “在” (Y) なし (Z) “准备” (L) なし
場面②： 動作の継続 発話時に V を行う 動作がいつまで続くか明確	(C) 我去旁边店里转转, 顺便等你。 (隣のお店にちょっと見に行く、ついでに君を待つ。) (P) 那我 <u>先</u> 去旁边转转, 不急。 (じゃあ、私 <u>とりあえず</u> その辺にちょっと見に行く、急がないで。) (Y) 我有点渴, 我 <u>先</u> 去买点水。 (喉がちょっと渴いた。 <u>とりあえず</u> お水を買いに行く。) (Z) 我 <u>先</u> 去别的店转转。 (<u>とりあえず</u> 他のお店にちょっと見に行く。) (L) 我 <u>先</u> 去××逛逛, 你来了跟我说。 (<u>とりあえず</u> ××に見に行く、君が来たら教えて。)	(C) なし (P) “先” (Y) “先” (Z) “先” (L) “先”
場面③： 結果状態の継続 (効力の継続) 未来に V を行う 状態がいつまで続くか明確	(C) 顺便跟他说 <u>一下</u> 顺序。 (ついでに彼に順番を <u>ちょっと</u> 教える) (P) 我来跟 c 说 <u>一下</u> 吧, 问问她的意见。 (私から C に <u>ちょっと</u> 伝えよう/伝えるよ、彼女の意見を聞く。) (Y) 我直接跟她讲 <u>一下</u> 好了。 (私直接彼女に <u>ちょっと</u> 伝えたらいいと思う。) (Z) 到时候跟他商量 <u>下</u> 。 (その時に彼と <u>ちょっと</u> 相談する。) (L) 到时候我跟他讲 <u>一下</u> 这个顺序。看他有什么别的想法。	(C) “一下” (P) “一下” (Y) “一下” (Z) “下” (L) “一下”

	(その時に彼にこの順番を <u>ちょっと</u> 教える。彼は他の意見を持っているかを見る。)	
場面④： 意志的に過去の 結果状態を継続 過去に V が行わ れた 状態がいつまで 続くか不明	(C) 我不关了，反正你正好要来了。 (私切らないで、ちょうど君が来たところなので。) (P) 那空调帮你开 <u>着</u> 。 (じゃあエアコンはつけてあげ <u>ている</u> 。) (Y) 就开 <u>着</u> 吧，你来了以后就能马上凉快了。 (ならつけ <u>ていて</u> ね、君が来たらすぐ涼しく感じられる。) (Z) 我就不关了 / 就这样开 <u>着</u> 吧。 (<u>なら</u> 私切らないならこのままつけ <u>ている</u> ことにしよう。) (L) 我就不关了，一开一关比较费电。 (なら切らないで、つけたり切ったりするのはエコじゃない。)	(C) なし (P) “着” (Y) “着” (Z) “着” (L) なし

表 7 「ておく」と形態的に対応する中国語表現の説明

場面①：“V 在” “准备 V”	ここの“在”は助動詞で「ある」を意味し、“放”は動詞で「置く」を意味する。“放”と“在”を一緒に使うことで、「置いて+ある」に相当する。 ここの“准备”は動詞を修飾する副詞で、動作を行う時の方式（心組み、様態）を修飾する。“准备+V”は「準備」の意味で「V するつもり」を意味する。
場面②：“先 V”	ここでの“先”は副詞で、「とりあえず」という意味である。“先 V”は「とりあえず V する」と意味する。暫定的な処置を表す。
場面③：“V 一下”	“一下”は動量詞（動作の回数の単位を表す量詞）である。基本的に数えられる動作 V に“一下”をつけることで、「一回 V（する）」という意味を表す。 ここでの“一下”はそのもう一つの使い方：副詞として動詞を修飾し、「動作 V が継続する時間を減らす」役割を持っており、「短時間の動作の持続」と意味し、“V 一下”は「ちょっと V する」に近い。「一時的な処置」と解釈できる。
場面④：“V 着”	ここでの“着”は進行を表す助動詞であり、“他動詞 V+着”は動作の進行を表し、「他動詞 V+ている」に相当する。

調査結果は出たものの、協力者の中には、すべての場面が“先”で言えると話す協力者がいたこと、また、許（2015）において、「ておく」と対応する表現として“先”が最も多く使用されていたことから、“先”という表現と「ておく」の対応について、より詳しく調べたいと考えた。次章では、この中国語の副詞“先”と「ておく」の対応関係について考察していく。

5. さまざまな場面における「とく」と中国語“先”との対応

本章では、中国語の副詞“先”についてより詳細に考察する。5.1 ではさまざまな場面において「ておく」と“先”とが対応するかどうかについての判定結果を示し、5.2 ではそれを踏まえ、両表現の表す事態の共通点と相違点について考察を加える。

5.1 さまざまな場面における“先”の使用可能判定

日本語における「ておく」の表す事態と中国語の副詞“先”の表す事態とを比較するため、第4章の調査で協力者が“先”を使うと答えた場面とは別の場面について、中国語会話で“先”が使用されるかどうかの判定を行った。分析には、3.2 で示した教科書とコーパスにおいて出現頻度の高い動詞20個の中からそれぞれ上位5つ、合計10個の動詞を用いた。まず、10個の動詞それぞれについて、3.2 で使用可能と判定した用法の日本語の会話例を日本語母語話者である筆者2名（伊藤・齋藤）で作成した。次に、中国語母語話者である筆者1名（張）がその会話例を見て、中国語の同じ場面で、当該発話に“先”が使われるかどうか判定した。判定は以下の3段階である。

- A. “先”が必要である
- B. 話者によって、“先”を使う場合も、使わない場合もある
- C. “先”を使うと不自然である

判定に使用した会話例は以下の通りである。会話例の番号①～④は、3.1 で示した表2の番号と対応している。A、B、Cの判定とともに、その下に判定者（張）による判定理由を示している。

＜コーパス上位5つの動詞：する、入れる、言う、知る、置く＞

(36a) する－①

(AとBはレストランでメニューを見ている。)

A：どれにしようかな。

B：私、焼き魚定食にする。

A：私はしょうが焼き定食にする。

B：あ、ごはんのサイズ大、中、小あるけどどうする？

A：私は…小にしとく。

B：え、めずらしいね。いつもたくさん食べるのに。

A：ちょっと今ダイエットしようと思ってて…。

判定→C

“先”を使う場合は、中国語で“我先要小的吧。”と言い、「最初は小にする。」という意味になってしまい、その後また他のサイズのご飯を食べるかのように感じる。

(36b) する－②

(AとBは一緒に飛行機を待っている。)

A：ちょっと早く着きすぎたな。

B：うん。でも遅れるよりはいいよ。

A：そうだね。暇だしトランプでもしとくか。

B：やろうやろう。持ってきてよかったね。

判定→C

例えば「飛行機に乗るために枕を買っとく」のように、枕を買うことが未来の時点で役割を果たす場合は、より“先”が出やすい。

(36c) する－③

(A と B は友だち)

A：来月あたり、久しぶりにカラオケ行かない？

B：おー、いいねいいね。来月は土日予定あるから平日でもいい？

A：いいよ。(手帳を見て) 10、15、22 日とかどう？

B：えーっと…(手帳を見て) 15 日がいいな。

A：オッケー。

B：久しぶりだから歌えるかな。練習しとくわ。

A：俺も。

判定→A

来月のカラオケのために練習しようと考えている。

(36d) する－④

(会議の後、A が片づけているところに同僚の B が来た。)

A：あ、佐藤くんお疲れ様。

B：お疲れ様。会議だったの？

A：うん、いま終わったところ。(机を動かす)

B：あ、午後も会議あるからこのままでいいよ。

A：そうなんだ、じゃあ椅子もそのままにしとくね。

B：うん。

判定→A

午後の会議という未来の事態のために、今とりあえず机をそのままにする。

(37a) 入れる－①

(書店のレジで。A は店員、B は客。)

A：次の方どうぞ。

B：これお願いします。

A：はい。3 点で 600 円です。

B：1000 円をお願いします。

A：1000 円、お預かりいたします。

400 円のお返しと、こちらお品物です。

ただ今キャンペーンをしておりますので、応募券も一緒に入れときますね。

B：あ、ありがとうございます。

A：ありがとうございました。またお待ちしております。

判定→B

客がキャンペーンに応募するという未来は想定できるが、確定した未来ではないため、“先”を使用する必然性はない。

(37b) 入れる－③

(A と B は同じ店でアルバイトをしている。店長がコーヒーマーカーに水を入れようとしている)

A：店長、お電話です。

店長：はい。

(B が店長に気づいて)

B：あ、私入れときます。

店長：ありがとう。助かる。

判定→C

「手伝います」「私入れます」の方が自然である。

(37c) 入れる－④

(兄弟の会話。兄がスノーボードから帰ってきた)

兄：ただいま。

弟：おかえり。

兄：お前も明後日スノボ行くよな？

弟：うん。

兄：じゃあボードそのまま車に入れとくから。

弟：あ、オッケー。ありがとう。

判定→A

明後日弟がボードを使うことを想定して、ボードを車に入れたままにするという処置をする。

(38a) 言う－①

(A と B は友だち。A と B を含めた 5 人で旅行に行こうと計画している。)

A：今度の旅行なんだけど、9 月は仕事が忙しいかもしれない、
行けるかどうかまだ分からないんだよね。

B：分かった。まあ、変わったら後で連絡すればいいから、
とりあえず旅行代理店の人には 5 人って言っとくね。

A：うん、ありがとう。

判定→A

A がその後行けるようになるかもしれないという未来を想定し、とりあえず人数を 5 人と伝える。

(38b) 言う－③

(A と B は友だち。カフェで話している。)

A：今度、高校の時のクラスのメンバーでご飯食べようって話が出ててさ。

B：え、そうなの？

A：うん。まだ 3 人しか集まってないけどね。

B：いいな～。

A：B も来る？

B：え、いいの？

A：もちろん！！今のところ 6 日か 10 日になりそうだけど、大丈夫？

B：えっと…（手帳を確認して）うん、大丈夫！！

A：オッケー！じゃあみんなに言っとくね。

B：やったー！楽しみ。

判定→C

現状に基づく処置であり、みんなに言うことは未来に何か明確な効力を発揮するわけではないため、使用しにくい。

(39a) 知る－①

(飲食店でアルバイト初日。A が B に仕事を教えている。)

A：まずは、この店のメニューを覚えてね。

B：はい。

A：材料とレシピまでしっかり覚えてね。

B：えっ。

A：そこまで知っとかないと、お客さんに説明できないからね。

B：そうですね。頑張って覚えます。

A：急がなくていいから、少しずつ覚えてね。

判定→A

お客さんに聞かれるかもしれないという未来を想定し、知っておいた方がいいと思っている。

(40a) 置く－①

(A は上司、B は部下。A と B は会社のイベントの準備をしている。)

A：B、悪いんだけど、コピー用紙が足りないから 50 枚くらい持ってきてもらってもいい？

B：分かりました。（取りに行く）

（コピー用紙を持ってきたが、A は今手が離せない）

A さん、コピー用紙ここ置いときますね。

A：あ、ありがとう！

判定→A

「置く」というのは、A がその後コピー用紙を使うという未来を想定した行為である。

(40b) 置く－③

(旅行から帰ってきた A と B が話している。)

A：この間奈良行ってきたんだよ。

B：へえー、そうなんだ。

A：これ、おみやげ。

B：なにこれ？

A：大仏の置物。

B：(笑いながら) なんで置物？

A：いや、面白いかなと思って。

B：何か意外だけどありがとう。家の本棚の上に置いとくわ。

A：うん、置いといて。

判定→B

話者によって「置いたことによっていつでも見られる」という未来を想定する場合と、「置く」ことで動作が完結し未来のことを想定していない場合がある。

(40c) 置く－④

(A と B は店の看板を一緒に作っていて、塗ったペンキが乾くのを待っている。)

A：2時間たったけど、なかなか乾かないね。

B：完全に乾くまではけっこう時間かかりそう。一晩くらいこのまま置いとこう。

A：そうだね。

判定→A

完全に乾くという未来の事態のために、このまま置いておく。

<教科書上位5つの動詞：書く、買う、開ける、予約する、戻す>

(41a) 書く①

(A、B、C は同じバイト先で、来月 B がやめるため、寄せ書きを作成している)

A：今 B さんへの寄せ書き集めてるから、C さんも書いてくれない？休憩のときとかでもいいし！

C：わかった！じゃ、今書いとくわ。

A：ありがとう！

判定→A

A はその後また他の用事ができるかもと考え、今時間があるのでとりあえず書く。

(41b) 書く－②

(A と B は部活のマネージャーで A が先輩。部活が始まる前の準備をしている。)

A：わたし職員室に部室の鍵取りに行くわ。

B：わかりました。じゃあ私その間ホワイトボードに今日のメニューを書いときますね。

A：うん、お願い。

判定→C

今の状況を考えて時間潰しにメニューを書くのであり、未来の何かのためにメニューを書くのではない。

(41c) 書く－③

(母と娘の会話。普段から、お互いの予定を把握するために、リビングにあるカレンダーに自分の予定を書くことになっている。)

娘：来週友達とディズニー行ってきたもいい？

母：いいよー。夕飯はどうするの？

娘：友達と食べてくる。

母：わかった。あとでカレンダー書いておいてね。

娘：オッケー。書いとく。

判定→B

「書く」という行為で完結すると思っている話者は“先”を使用しないが、「書くことで母にその日は夕飯はいらないことが伝わる」という未来のことを想定する話者は“先”を使用する。

(42a) 買う－①

(スーパーで夫婦が買い物をしている。)

夫：あ、トマト安くなってるよ。

妻：ほんとだ。娘嫌いだけど…。でも体にいいし食べてほしいから、買っとくか。

夫：そうだね。

判定→A

買った後娘が食べるかもしれないと思って買う。

(42b) 買う－③

(夫と妻の会話)

夫：あ、ティッシュがもうない。

妻：あ、なくなった？買っとくわ。

夫：お願いしまーす。

判定→C

単純に「ティッシュがなくなったので買う」ということなので、未来の事態は想定していない。

(43a) 開ける－①

(AとBは恋人同士で、AがBの家へ遊びに行く。Aは、もう少しで着くことを電話で連絡する。)

A：もしもしー。

B：あ、A？今どの辺？

A：今近くのコンビニだよ。あと5分ぐらいで着くかな。

B：おっけー。玄関の鍵開けとくね。夕飯作ってるから勝手に入ってきてー。

A：わかったー。ありがとう。

判定→A

後でAが入るという未来を想定し、今鍵を開ける。

(43b) 開ける－③

(中学生のAが先生に、昼休みに部室を使いたいとお願いしている。部室の鍵は先生が管理しており、許可がないと使用することができない。)

A: 先生、昼休みにミーティングをしたいので、部室を使ってもいいですか。

先生: わかった。じゃあ、昼休みまでに部室の鍵開けとくわ。

A: ありがとうございます。

判定→A

後で学生が入れるように、鍵を開ける。

(43c) 開ける－④

(Bの家に遊びに来ているAが、寒いので窓を閉めることを提案している)

A: ちょっと寒くない? 窓閉める?

B: いや、そのまま開けといて。今換気してるから。

A: そうなんだ。オッケー。

判定→C

「換気している」という今の状態を考慮して「開けておく」ため未来の事態は想定していない。⁹

(44a) 予約する－①

(来月の旅行についてAとBが話し合っている)

A: 来月の旅行、ホテルどうしようか。

B: そろそろ決めないとね。こことかいいいんじゃない? (ホテルのHPを見せている)

A: いいね。部屋もきれいそうだし。

B: じゃあここにしようか。私予約しとくね。

A: ありがとう。

判定→A

旅行という未来の事態を想定して予約する。

(44b) 予約する－③

(来週一緒に夕飯を食べる約束があるAとBがお店の相談をしている)

A: 来週、何食べる?

B: うーん、ピザ食べたい気分かも。

A: いいね! ピザにしようか。私おいしいお店知ってるよ。ここどう?

B: おいしそう! そこにしょ!

⁹ ただし、この場面で“先”を使う母語話者もいる。その場合は、「換気が終わったら閉める」という含みを持たせることにより、窓を閉めたがっているAさんに配慮するような表現となる。

A：うん！じゃあ私予約するね。あ、今日休業日だ。明日電話して予約しとくわ。

B：ありがとう。

判定→C

予約した後のことを考えていないから“先”は使えない。「明日また予約する」の方が自然である。

(44c) 予約する－④

(旅行の予定が変わりそうで、予約したレストランをキャンセルするか話している。)

A：どうする？あのレストラン、キャンセルする？

B：いや、まだ変わるの確定してないし、そのままでいいんじゃない？

A：オッケー。じゃあこのまま予約しとく。

判定→A

その後変わらない可能性もあると考えて、とりあえずこのままにする。

(45a) 戻す－①

(A と B はグループ研究をするために、図書館で資料を探している)

A：この本使えるかな？

B：うーん、どうだろう。私たちの研究テーマとは少し違う気がする。

A：そうだよね。じゃあ、(本棚に) 戻しとくわ。

B：ありがとう。

判定→B

「その後 B が本を使わない」という未来への意識がある話者は、“先”を使うが、「本をどうするか」という今の状況を考えた結果、戻すことにするという意識のある話者は“先”を使わない。

(45b) 戻す－③

(A と B は留学生。A の電子辞書を借りたいと B がお願いしている)

B：A さん、1 時間ぐらい電子辞書貸してくれない？明日までの課題で使いたくて。

A：いいよ。どうぞ。

B：ありがとう。終わったら A さんの机に戻しとくね。

A：うん。よろしく。

判定→C

“先”を使った場合、電子辞書を A さんの机に戻した後まだ何か出来事が続くように感じる。

5.2 「ておく」と“先”の対応関係に関する考察

前節の判定結果をもとに、日本語における「ておく」と中国語における“先”との対応関係について考察していく。

本節では、「とく」と“先”が使用できる場面が以下の図 1 のような分布をなしていると仮定し、以下のような 4 つのカテゴリーに分けて見ていく。

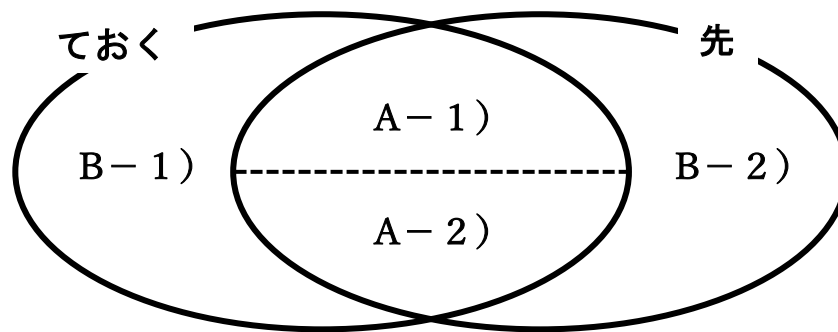


図 1 「ておく」と“先”の用法分布図

A. 「ておく」と“先”が対応しやすい場面

- 1) “先”が必要である場合（5.1 で A と判定されたもの）
- 2) 人によって“先”を使用するかどうか分かれる場面（5.1 で B と判定されたもの）

B. 「ておく」と“先”が対応しにくい場面

- 1) 「ておく」が使われるが、“先”が使えない場面（5.1 で C と判定されたもの）
- 2) “先”が使われるが、「ておく」が使えない場面

5.2.1 A. 「ておく」と“先”が対応しやすい場面

1) “先”が必要である場合（A と判定されたもの）

日本語で「ておく」が選択される場面のうち、中国語で“先”が必要であると判定されたものに共通しているのは、「ておく」の発話時に、後に起こる何らかの事態が想定されていることが明確であるということである。

(46) 言う－①

(A と B は友だち。A と B を含めた 5 人で旅行に行こうと計画している。)

A: 今度の旅行なんだけど、9 月は仕事が忙しいかもしれないくて、
行けるかどうかまだ分からないんだよね。

B: 分かった。まあ、変わったら後で連絡すればいいから、
とりあえず旅行代理店の人には 5 人って言っとくね。

A: うん、ありがとう。

← (38a) 再掲

(47) する－③

A: 来月あたり、久しぶりにカラオケ行かない？

B: おー、いいねいいね。来月は土日予定あるから平日でもいい？

A: いいよ。(手帳を見て) 10、15、22 日とかどう？

B: えーっと…(手帳を見て) 15 日がいいな。

A: オッケー。

B: 久しぶりだから歌えるかな。練習しとくわ。

A: 俺も。

← (36c) 再掲

(48) 予約する－④

(旅行の予定が変わりそうで、予約したレストランをキャンセルするか話している。)

A: どうする？あのレストラン、キャンセルする？

B: いや、まだ変わるの確定してないし、そのままでいいんじゃない？

A: オッケー。じゃあこのまま予約しとく。

← (44c) 再掲

(46) では、「ておく」で表される「言う」という行為は、「人数が決定した時に再び連絡する」という未来の事態を明確に想定したものである。(47) では、「2人でカラオケに行く」日のために「練習する」ということが明確である。(48) では、「予約したレストランに行くかもしれない」から、「予約したままにする」という場面である。このように、「ておく」で表される事態が、何らかの未来の事態を想定した行為である、つまり、「ておく」発話時の行為が未来のある時点で効力を発揮することが明確な場合には、“先”を対応させやすいと考えられる。

2) 話者によって“先”を使用するかどうか分かれる場面 (Bと判定されたもの)

5.1 で、B. 話者によって、“先”を使う場合も、使わない場合もあると判定された場面に共通しているのは、文脈によっては、Vで表される行為が未来のある時点で効力を発揮するともいえるし、そうでないともいえる次のような場面である。

(49) 置く－③

(旅行から帰ってきたAとBが話している。)

A: この間奈良行ってきたんだよ。

B: へえー、そうなんだ。

A: これ、おみやげ。

B: なにこれ？

A: 大仏の置物。

B: (笑いながら) なんで置物？

A: いや、面白いかなと思って。

B: 何か意外だけどありがとう。家の本棚の上に置いとくわ。

A: うん、置いといて。

← (40b) 再掲

(50) 書く－③

(母と娘の会話。普段からお互いの予定を把握するために、リビングにあるカレンダーに自分の予定を書くことになっている。)

娘: 来週友達とディズニー行ってきたもいい？

母: いいよー。夕飯はどうするの？

娘：友達と食べてくる。

母：わかった。あとでカレンダー書いておいてね。

娘：オッケー。書いとく。

← (41c) 再掲

(49) では、B はおみやげを置くこと自体に焦点を当てているか、それとも「置く」という行為の結果、何らかの未来の事態（例えば、いつでも見られるなど）に影響を及ぼすことを想定しているのかは話者による。つまり、「もらったおみやげをどうするか」という問題について、「棚の上に置く」ことにしたという場合は未来の事態が想定されにくく“先”が現れにくい、「棚の上に置く」ことによって、「これからいつでも見られる」ことを想定している場合は、“先”が使われやすいと考えられる。(50) も同様に、「書く」という行為自体に焦点を当てるか、「書く」という行為を「母が自分の予定を把握できる」という後続事態と結び付けるかによって、中国語の同じ場面で“先”が選択されるかどうか分かれるのではないかと考えられる。

5.2.2 B. 「ておく」と“先”を対応させられない場面

1) 「ておく」が使われるが、“先”が使えない場面

日本語では「ておく」が自然に使用されるが、中国語の同じ場面で“先”を使用すると不自然となるのは以下のような場面である。

(51) するー①

(A と B はレストランでメニューを見ている)

A：どれにしようかな。

B：私、焼き魚定食にする。

A：私はしょうが焼き定食にする。

B：あ、ごはんのサイズ大、中、小あるけどどうする？

A：私は…小にしとく。

B：え、めずらしいね。いつもたくさん食べるのに。

A：ちょっと今ダイエットしてて…。

← (36a) 再掲

(52) するー②

(A と B は一緒に飛行機を待っている。)

A：ちょっと早く着きすぎたな。

B：うん。でも遅れるよりはいいよ。

A：そうだね。暇だしトランプでもしとくか。

B：やろうやろう。持ってきてよかったね。

← (36b) 再掲

(53) 戻すー③

(A と B は留学生。A の電子辞書を借りたいと B がお願いしている)

B：A さん、1 時間ぐらい電子辞書貸してくれない？明日までの課題で使いたくて。

A: いいよ。どうぞ。

B: ありがとう。終わったら A さんの机に戻しとくね。

A: うん。よろしく。

← (45b) 再掲

上の 3 つの場面は前述の A の場面とは異なり、未来の事態が想定されにくいために“先”を使うと不自然になると考えられる。(51)では、「ダイエットをしている」という今現在の状態を理由として「ご飯を小にする」のであり、未来の事態を想定していない。同じような場面において、中国語では「小にする」と無標形で言うのが一般的である。(52)は、一見「飛行機に乗る時間」という未来の時点を想定しているように思われるが、「トランプをする」という行為 V と「飛行機に乗る」という未来の事態の間には関連性がなく、そのことにより“先”が使いにくくなると考えられる。例えば、「飛行機の時間長いし、枕買っとくか」のような場合であれば、飛行機に乗ったときに買った枕が効力を発揮することが明確であるため、“先”が使用されやすくなる。(53)では、「借りた」ものを「戻す」という行為によって、物の貸し借りという事態は完結しており、未来に何らかの想定をして「戻す」という動作を行っているわけではないため、“先”は不自然となる。この「完結」という意味がさらに強く現れるのが、以下のような例である。

(54) (A と B は大学の友達である。2 限の授業前に A が B に電話した。)

A: もしもし、B?

B: もしもし? どうしたの?

A: 今日の 2 限なんだけど。

B: うん。

A: ちょっと今お腹痛くてトイレにいてさ...

B: え! 大丈夫?

A: 先生にちょっと遅れますって伝えてくれない?

B: 了解了解。言っとくよ。

A: ごめんね。お願いします。

B: ううん、無理しないでね。

A: うん、ありがとう。

上の例では、A が B に対して、自分が腹痛で遅刻するかもしれないということを先生に伝えるよう依頼している。このような場合、「先生に B が遅れることを言う」行為の完了のみが求められており、それ以上の未来のことは想定されていない。「先生に迷惑をかけないために言う」、「遅れることを伝えることで何らかの措置をしてもらいたい」などの未来のことは想定されうるが、文脈に明確には表れておらず、また先生がどう受け取るかは先生次第なため、未来のことは想定しにくい。

2) “先”が使われるが、「ておく」が使えない場面

2.2 で述べたように、中国語の副詞“先”には「単純な行為の順番」、「未来を想定した処置」の 2 つの用法がある。A-1) の観察から、このうちの「未来を想定した処置」が「ておく」と対応しやすい用法

だと考えられる。したがって、単純な順番を示す次のような場合には、“先”では言えても「ておく」では不自然になる。

(55) (Aは旅行のおみやげをBに渡す)

A: これ、ディズニーランド行ってきたからおみやげ!

B: えーありがとうございます! 開けてもいい?

A: いいよ!

B: おお! チョコレートだ! イチゴ味と…キウイ味?

A: そう!

B: ちょうどお腹空いてるから今食べようかな。どっちから食べようかな。

(Aの服を見て)

B: Aの服が黄色だからキウイから食べようかな。

<A穿了黄色衣服所以, 我 先 吃 猕猴桃味的 吧。>

(私 先に 食べる キウイ味の 終助詞)

このように、「ておく」と“先”は、未来の事態と現在の行為との関連が明確であればあるほど対応しやすく、“先”が単純に順番の意味で用いられる場合は、日本語の「ておく」には対応しないことが分かった。次章ではこの考察を踏まえ、中国語母語の学習者に対する指導法を提案する。

6. 中国語母語の日本語学習者への導入方法

以上の点を踏まえ、中国語母語の日本語学習者への導入方法を提案する。その方法は以下の3つの手順で行う。なお、対象は中級の「ておく」を学習済みの学習者とし、再導入の方法を提案する。

①「ておく」の基本的意味の導入

②中国語の“先”を基準にした「ておく」に対応する意味の提示

③中国語の“先”にはない「ておく」の用法の提示

それぞれの方法について、以下で詳しく説明する。

6.1 「ておく」の基本的意味の導入

3章でも述べたように、「ておく」の基本的意味は「結果状態・動作の継続」かつ「未来のことを想定してVする」であると考ええる。本稿では中国語の副詞“先”との対応を考えるため、“先”とより関連があると考えられる「未来のことを想定してVする」に焦点を当てて、再導入を行う。再導入の際には、基本的意味の説明とともに場面の提示を行うことで、より意味が明確になると考えるため、以下の3つの場面をもとにその基本的意味を確認する。なお、場面はすべて日本語母語話者である筆者(伊藤・齋藤)による作例であり、会話で使用されやすい「ておく」の省略形「とく」を用いて、場面を作成している。

(56) (AとBは恋人同士でAがBの家へ遊びに行く。もう少しで着くことを電話で連絡した。)

A：もしもしー。
 B：あ、A？今どの辺？
 A：今近くのコンビニだよ。あと 5 分ぐらいで着くかな。
 B：オッケー。玄関の鍵開けとくね。夕飯作ってるから勝手に入ってきてー。
 A：わかったー。ありがとう。 ← (43a) 再掲

この場面における未来のことは「A が B の家に着いたとき」であり、V は「鍵を開ける」である。

(57) (A と B は友だち)
 A：来月あたり、久しぶりにカラオケ行かない？
 B：おー、いいねいいね。来月は土日予定あるから平日でもいい？
 A：いいよ。(手帳をみて) 10、15、22 日とかどう？
 B：えーつと…。(手帳をみて) 15 日がいいな。
 A：オッケー。
 B：久しぶりだから歌えるかな。練習しとくわ。
 A：俺も。 ← (36c) 再掲

この場面における未来のことは「来月 15 日のカラオケの約束」、V は「歌の練習をする」である。

(58) (兄がスノーボードから帰ってきた)
 兄：ただいま。
 弟：おかえり。
 兄：お前も明後日スノボ行くよな？
 弟：うん。
 兄：じゃあボードそのまま車に入れとくから。
 弟：あ、オッケー。ありがとう。 ← (37c) 再掲

この場面における未来のことは「明後日弟がスノーボードをしに行くこと」であり、V は「ボードを車に入れる」である。

以上の場面をまとめると、表 8 になる。

表 8 各場面における「ておく」の基本的意味との対応

作例	未来のこと	V
(56)	A が B の家に着いたとき	鍵を開ける
(57)	来月 15 日のカラオケの約束	歌の練習をする
(58)	明後日弟がスノーボードをしに行くこと	ボードを車に入れる

以上のように、「ておく」の基本的意味は「未来のことを想定して V する」であると考えられる。これは中

国語の“先”とも対応しており、「未来のこと」が文脈に含まれていると“先”を使用しやすい。また、ただ未来のことが文脈に含まれているだけでなく、「Vする」とことと「未来のこと」に関連があり、「未来のこのためにVする」という意味を持つとき、「ておく」が使用され、中国語でも“先”が使用されやすい。まだ日本語がスムーズにでない中級の中国語母語の学習者の日本語使用手順を考えると、まず中国語で自分の言いたいことを想像し、そこから日本語に訳すだろう。その日本語に訳す段階で“先”を「ておく」に変換することが中級学習者に求められる最初のステップである。

6.2 中国語の“先”を基準にした「ておく」に対応する意味の提示

中国語の“先”には大きく分けて2つの意味がある。一つは「ておく」と対応する「未来のことを想定してVする」であり、もう一つは「順番」の意味である。この順番の意味は日本語では「まず／先に／第一に」などを使って表現されるものであり、「ておく」とは意味が違っている。しかし、中国語母語話者である筆者（張）によると、これらの2つの意味は同じ“先”を使用するものの、頭の中で区別できる表現である。そこで、「ておく」を使用する場面の導入の際に以下のフローチャートを使用する方法を提案する。

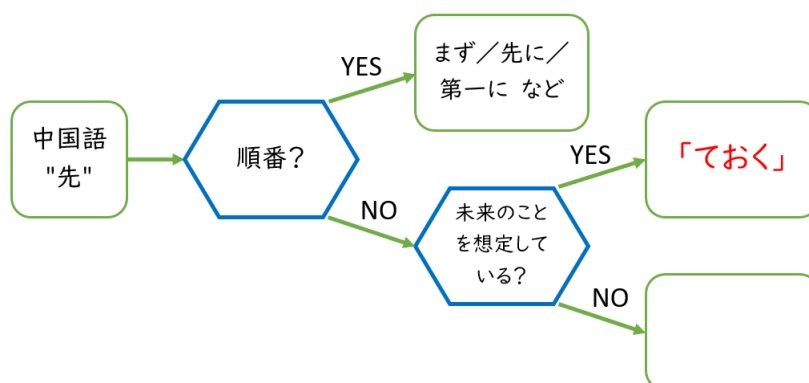


図 2 中国語母語の日本語学習者に対する「ておく」のフローチャート

図 2 のように、学習者がまず頭の中で中国語の“先”を使用する文を想像した際に、「順番」の意味かそうではないかを考える。そして、順番の意味ではなかった場合、「未来のことを想定しているか」を考える。さらに「未来のことを想定」していた場合に、「ておく」と置き換えることができるという流れである。なお、「順番」ではなく「未来のことを想定していない」場合の日本語の対応は、本稿の目的と外れるため、省略する。

以上が、中国語の“先”を基準にした「ておく」に対応する意味の提示方法である。この方法を用いることで、“先”では表せるが、「ておく」では表せない場面を排除し、“先”と「ておく」の両方が使用できる場面を選択できるようになる。

最後に“先”は使用できないが、「ておく」が使用できる場面を見ていく。

6.3 中国語の“先”にはない「ておく」の用法の提示

5.2.2 の 1) で述べたように、未来を考慮しない場合の「ておく」の用法は a. 現状を理由にして V する、b. 未来の事態と無関係の行為、c. 「ておく」がつく V をすることで完結し、未来へ結果状態が継続

しないものの3つが主な用法である。

まず、aの「現状を理由にしてVする」ときの用法の場合を考える。「ておく」の基本的用法であれば未来を理由にしてVするが、この場合は現状を理由にしている。例えば以下の例である。

(59) (Bの家に遊びに来ているAが、寒いので窓を閉めることを提案している)

A: ちょっと寒くない? 窓閉める?

B: いや、いいわ。そのまま開けといて。今換気してるから。

A: そうなんだ。オッケー。

← (43c) 再掲

この例は現状の「換気している」ということを理由に「開ける」ことを継続している。

bの「未来の事態と無関係の行為」の用法は、主に「動作の継続」の際に使用され、「未来のためにVする」という意味ではなく、「未来のある時点までの時間をVすることで使う」というニュアンスになる。例えば以下の例である。

(60) (AとBは一緒に飛行機を待っている。)

A: ちょっと早く着きすぎたな。

B: うん。でも遅れるよりはいいよ。

A: そうだね。暇だしトランプでもしとくか。

B: やろうやろう。持ってきてよかったね。

← (36b) 再掲

この例は「飛行機に乗るためにトランプをする」のではなく、「飛行機に乗るまでの時間をトランプをして過ごす」という意味になる。

cの『ておく』がつくVをすることで完結し、未来へ結果状態が継続しないもの」の用法は、Vすることで行為が完結し、未来への想定が弱い、ない場合である。例えば以下の例である。

(61) (AとBは大学の友達である。2限の授業前にAがBに電話した。)

A: もしもし、B?

B: もしもし? 何したの?

A: 今日の2限なんだけど。

B: うん。

A: ちょっと今お腹痛くてトイレにいてさ....

B: え! 大丈夫?

A: 先生にちょっと遅れますって伝えてくれない?

B: 了解了解。言っとくよ。

A: ごめんね。お願いします。

B: ううん、無理しないでね。

A: うん、ありがとう。

← (54) 再掲

(61) の例は A にお願いされて、B が先生に伝えることを引き受けている。このように、お願いされている場合は、話し手の責任が明確なため、“先” が使用できない。例えば以下の (62) のようにお願いされておらず、話し手が V することを申し出ている場合は、“先” が使用できる場合もあるが、この場合も未来の想定が弱い、ない場合は使用できない。

(62) (A と B は大学の友達である。2 限の授業前に A と B がトイレの前で会った。)

A: あ、B。おはよう。

B: おはよう。いてててて…。

A: どうしたの？

B: お腹が痛くて…。トイレ行ってくるわ。

A: 大丈夫？あ、私先生に B はお腹が痛いから遅れるって言うとか？

B: いいの？ありがとう。

A: お大事にね。

以上のように、現在のある状態を考慮して V する場合、未来の事態と行為 V に関連性がない場合、「ておく」がつく動作が行われることで事態が完結する場合は、“先” を使用することができない。この場合、「ておく」は表 2 の①の用法では「何か事情があったり、予備の措置として V する」という意味になり、②の用法では単に「動作の継続」を表し、③の用法では「今ではなくあとで V する」ということを表す。なお、④の用法はその理由が現状にあるか未来にあるかに関わらず、発話時以前の状態を意図的に継続させることを表す。

また、c の用法では聞き手に何らかの利益がある V の場合、「私が責任を持って V する」というニュアンスが追加される。つまり、(63) では「私が責任を持って本を戻す」、(61) では「私が責任を持って先生に言う」という意味が追加され、単に「あとで行う」という意味だけではない。

(63) (A と B はグループで一緒に研究をしており、図書館で資料を探している)

A: この本使えるかな？

B: うーん、どうだろう。私たちの研究テーマとは少し違う気がする。

A: そうだね。じゃあ、(本棚に) 戻しとくわ。

B: ありがとう。

← (45a) 再掲

以上のように「ておく」の基本的意味から派生した意味の説明ができる。しかし、この説明では学習者の理解が難しく、具体的な導入方法の検討には至っていない。

6.4 まとめ

以上のように、段階を踏んで「ておく」の意味用法を提示することで、「ておく」に完全に対応する表現がない中国語母語の日本語学習者でも、「ておく」の意味を理解しやすいと考える。また、中国語において日常的に使用されやすい“先”と「ておく」の対応関係を利用して指導することで、中国語母語の学

習者の「ておく」の非用¹⁰も従来よりも減少させることができると考える。

7. 終わりに

本稿では、日本語の補助動詞「ておく」と中国語の副詞“先”の対応関係を考察することにより、中国語母語話者に対する効果的な「ておく」の指導法の提案を試みた。以下、第1章で示した流れに沿って本稿全体をまとめる。

I. 補助動詞「ておく」の基本的意味について改めて整理する

先行研究をもとに、補助動詞「ておく」が「準備」という意味とセットで導入されることには問題があること、そして、意味というものは、形式それ自身よりも文脈によって形作られる側面が大きいものであることを理解する重要性を確認した。

次に、『名大会話コーパス』を参考に、動作がいつ行われるか、何をどのように継続するかによって「ておく」の用法を4つに分類した。

II. 日本語会話において補助動詞「ておく」が用いられる場面について、中国語会話ではどのような表現が用いられるかを明らかにする。

中国語母語話者へのアンケート調査により、日本語ではすべて「ておく」で表される事態が、中国語においてはさまざまな表現で描写されることが分かった。また、アンケート協力者へのインタビューから、中国語の副詞“先”は「ておく」が使用される場面において汎用性が高い可能性が示唆された。

III. 補助動詞「ておく」と中国語における副詞“先”が表す事態の共通点と相違点を明らかにする。

さまざまな動詞、用法の「ておく」の会話例について、中国語の同じ場面で“先”が使用できるかどうかを判定した。これにより、『ておく』は使えるが、“先”が使えない例の共通点として、『ておく』の動作Vがなされるときに、未来のことを明確に想定していないという共通点が見えてきた。さらに、作例により“先”は使えるが、『ておく』が使えない場面をみると、“先”の最も基本的な用法である「AとBのうち、Aを『先に』行う」という順番を表す用法の場合に、「ておく」と対応しないことが分かった。

IV. 中国語母語話者に対する補助動詞「ておく」の指導法を提案する。

5章までの考察を踏まえ、中国語母語話者に対する中国語の副詞“先”を利用した以下のような「ておく」の指導方法を提案した。

- ①「ておく」の基本的意味の導入
- ②中国語の“先”を基準にした「ておく」に対応する意味の提示
- ③中国語の“先”にはない「ておく」の用法の提示

¹⁰ 辻 (2016) は、中国語母語の学習者の「ておく」の使用においては、誤用よりも非用が多いと述べている。

①では、「未来のことを想定してVする」という「ておく」の基本的意味を導入する。②では、中国語の“先”をスタート地点に、“先”と「ておく」の対応関係を利用して最後に「ておく」にたどり着けるようなフローチャートを提示する。③では、5章における両形式の相違点に関する考察をもとに、「現在のある状態を考慮してVする場合」、「未来の事態と行為Vに関連性がない場合」、「『ておく』がつく動作が行われることで事態が完結する場合」という、中国語母語話者が理解しにくい「ておく」特有の意味用法を提示する。

本稿で提示した指導法は、「ておく」と“先”が表せる事態の共通点を利用するものであり、中国語母語の日本語学習者が「ておく」の使用場面を感覚的、直感的に理解することにつながるものであるといえる。しかし、両表現に共通する部分を外れた用法の指導については「ておく」特有の意味の提示にとどまり、具体的な指導法を提示することができなかった。加えて、日本語学習者が本当に「ておく」を使えるようになる指導を考えるためには、今回“先”との共通点を考察したために深く分析することのできなかった「ておく」の「継続性・持続性」という側面についても、中国語の他の表現と対応させながら改めて考える必要があるだろう。

最後に、本研究において重要だったことは、ある2つの形式の間の「意味」の共通性ではなく、「使用場面」の共通性をもとに、対応関係を考察した点である。これは、「意味」をもとに対応関係を考えることには問題点があると考えたからである。

例えば、日本語の「ておく」とある言語との対応を考える際、「準備」のようなラベルづけされた意味を媒介すると、「準備」を厳密には定義できないために、日本語における「準備」と、対象言語における「準備」の間にズレが生まれる可能性がある。また、学習者がまさに「ておく」を使用すべきだという場面に出会ったとしても、今自分が表したい事態が『準備』に相当すると認識しない限りは、「ておく」の使用には至らない。一方で、「使用場面」を媒介した場合、両言語で全く同じ場面で使用する形式を考えるため、使用感覚のズレのない対応関係を見出すことができる。

このような点において、学習者がある形式を正しく使用できるようになる指導を考えるにあたっては、その形式の「意味」よりも「使用場面」を考慮することが求められるのではないだろうか。

本稿が、日本語教育においてより良い「ておく」指導を考える一助となれば幸いである。

【参考文献】

<日本語>

植田志穂 (2017) 「テオクの性質と日本語教育における提出法」『日本語・日本文化研究』 27, 大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻, pp. 204-215.

岡野ひさの (2003) 「テオクの分類と特徴」, 『福岡大学人文論叢』 35(1), pp.69-85, 福岡大学研究推進部.

許臨揚 (2015) 「認知言語学的な観点から見た日本語の『完了』アスペクトの形式」名古屋大学大学院国際言語文化研究科日本言語文化専攻博士論文

辻周吾 (2016) 「日本語学習者の補助動詞「～ておく」の習得について ―中国人日本語学習者に対する指導方法をめぐって―」『国際言語文化学会日本学研究 = Japanology』 創刊号 (1), 京都外国語大学国際言語文化学会事務局, pp. 13-28.

中俣尚己（2014）『日本語教育のための文法コロケーションハンドブック』くろしお出版
藤村逸子・大曾美恵子・大島ディヴィッド義和（2011）「会話コーパスの構築によるコミュニケーション研究」藤村逸子・滝沢直宏編『言語研究の技法：データの収集と分析』p. 43-72、ひつじ書房
吉田妙子（2012）『日本語テ形動詞のアスペクト』晃洋出版

<中国語>

李良芳（2011）.時間词语“前”、“先”的古今词义对比研究[J].励耘学刊(语言卷), (11), 200-215.
许临扬（2017）.从汉日语比较视角探讨日语补助动词的语义特征* ——以「ーておく」为例. 苏州科技大学学报. (34-6), pp.58-63.
杨洁（2011）.浅析“V 一下”的语法意义. 新乡学院学报. (25-2), pp.148-150.
中国社会科学院语言研究所词典编辑室（2012）.现代汉语词典（第6版）.商务印书馆

【ホームページ】

吉川武時（2007a）『『～てある』の意味と動詞の種類との関係』
<http://w01.i-next.ne.jp/~g140179870/tearunoimi.html>（2021年7月5日最終アクセス）
吉川武時（2007b）『『～ておく』の意味と動詞の種類との関係』
<http://w01.i-next.ne.jp/~g140179870/teokunoimi.html>（2021年7月5日最終アクセス）

【コーパス】

『名大会話コーパス』 概要ページ URL : <https://mmsrv.ninjal.ac.jp/nucc/>

【巻末資料：4.1の調査で使用した中国語のアンケート】

问卷调查

（場面①）A（女儿）和B（妈妈）从超市买完东西回到家，A正在整理买来的东西。

接下来要把肉放进冰箱，并告知B这个想法。

Q: 如果你是A，你会怎么表达？

A: ()

B: 知道了。

（場面2）A和朋友B约好在某地碰头，A先到达目的地正在等朋友。接着A接到了B的电话，B说可能要迟到15分钟。为了打发时间，A接下来要去附近店里转一转看一看，并A要告知朋友B这个想法。

Q: 如果你是A，你会怎么表达？

A: 不好意思! 我可能会迟到 15 分钟!

B: 知道啦。()。

A: 好的, 等我到了再联系你哦。

(场面 3) ABC 三人被分到了一个小组做发表, 今天第一节课时, A 和 B 就发表的事一起商量了一下, C 因为不方便所以没来成。A 和 B 商量过后决定按照“A: 序言/调查方法 B: 调查结果 C: 结论”的顺序进行发表。因为第二节课 A 要和 C 一起上, A 就打算到时候把决定的顺序和 C 说一下, 并告知 B 自己的想法。

Q: 如果你是 A, 你会怎么表达?

A: 那发表的顺序, 就按这个来 ok 吧?

B: 嗯。

A: 我接下来要和 C 一起上课。()

B: 啊真的吗? 那谢谢你了!

(场面 4) A 一边和 B 打电话一边理东西打算离开研究生自习室, 然后 B 在电话里说她快到实验室了。A 想着既然 B 快到了, 那开着的空调就让它保持开着吧, 并告知 B 自己的想法。

Q: 如果你是 A, 你会怎么表达?

A: 到刚刚为止我一直在研究生室学习, 现在正准备回去, 只剩我没回去了。

B: 啊, 这样啊, 我正要去研究生室呢。

A: 噢这样啊, 那空调()

B: 谢谢! 那真是最好不过了。